

保護者の皆様

宮城県立山元支援学校
校長 山内 民

令和5年度 山元支援学校 学校評価結果の報告について

向春の候、皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、11月に行いました学校評価保護者アンケートでは、多数の方に回答いただき誠にありがとうございました。皆様からいただきましたアンケートの結果を御報告いたします。学校では、1月末に全体反省会を実施し、保護者の皆様からいただいた御意見を全教職員で共有する時間を設けました。皆様からの貴重な御意見とアンケート結果を基に全職員で教育的ニーズを把握するとともに、課題を共有し、改善策を検討しながら次年度の教育計画を作成しているところです。また、今回の結果から情報発信、情報共有の重要性を再確認するとともに、今後は更に力を入れていきたいと思っております。

今後より質の高い教育活動を目指し専門性向上に努めてまいりますので、引き続き保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

1 年度の学校評価について

(1) 全体評価

本年度の学校評価は、各項目について「4：そう思う、3：ややそう思う、2：ややそう思わない、1：そう思わない」の4点満点で評価を行い、保護者アンケートの全体平均は「3.53」、職員自己評価の全体平均は「3.34」と高い評価となりました。

(2) 保護者アンケートより

保護者アンケートでは、全体平均が「3.53」と高い評価を得ました。各項目の中で平均「3.4」以下となったのは「5：本校はICT機器を積極的に活用し、お子様の学びが充実したものになっていると思いますか。」(3.22)の1項目でした。

(3) 職員自己評価より

職員自己評価の全体平均は「3.34」と高い評価を得ました。各項目の中で平均が「3.2未満」となったのは「9：授業や学校行事等は志教育を踏まえ、児童生徒の実態や発達段階に応じた協働的な学習を展開している。」(3.18)、「11：学部段階ごとに12年間を見据え系統的な教育課程を編成している。」(3.00)、「15：教職員は各自研修計画を作成し、積極的に研修を受けるなどして、自己研鑽に努めている。」(2.93)の3項目でした。

(4) 改善策

保護者アンケートで課題となった「5：本校はICT機器を積極的に活用し、お子様の学びが充実したものになっていると思いますか。」については、これまで教師側のICT活用に重点を置いてきたため、児童生徒のICT活用があまり積極的に進められていなかったことが要因だと考えます。また、児童生徒の発達段階や障害特性等を勘案すると、適切な活用の場面が見いだせないということも影響していると思います。今後は児童生徒のICT活用について、教師側のICT教育に対する知識の向上や情報活用能力の育成についての研修会を設定するなど、適切な指導実践ができるように進めて参ります。

職員自己評価から課題となった「9：授業や学校行事等は志教育を踏まえ、児童生徒の実態や発達段階に応じた協働的な学習を展開している。」「11：学部段階ごとに12年間を見据え、系統的な教育課程を編制している。」では、近隣の学校との協働的な学習の設定は相手方の都合もあり、なかなか設定するのが困難な状況です。そのため校内で小・中・高の連携をはかり、学部間での協働的な学習の展開を進めていくとともに、小・中・高の縦の系統性も考慮し、教師間の情報の共有や共通理解の場を設け、系統的な教育課程の編成に努めて参ります。

「15：教職員は各自研修計画を作成し、積極的に研修を受けるなどして、自己研鑽に努めている。」では、今年度よりスタートした「研修計画」についての情報共有がうまくいかず、取組が今一つ進みませんでした。次年度は各自が年度当初に研修のテーマを設定し、研修計画を立てること、さらに研修計画にそった研修を受けられるような体制づくりや研修ニーズを把握した校内研修、外部研修会（動画）の活用を進めていくことで、専門性の向上に努めて参ります。

(5) その他

保護者アンケート「11：本校は、保護者や地域と連携した防災・防災訓練を計画的に行っているか」は平均値として低くはありませんでしたが、自然災害の増加や被害の甚大化などの昨今の状況や、本校が亘理町・山元町の「福祉避難所」として指定をうけている現状から、両町との連携の強化と情報共有を図っていくことを確認しました。

2 保護者自由記述より

「自力通学生への安全確保のための教員配置」と、「進路指導や高等部作業学習について、家庭と学校の考え方や進め方での不一致があった」という御意見があげられました。自力通学生に対しては、定期的な通学指導や交通安全教室等で通学時の安全行動について指導しております。また必要に応じて、教員が巡回し安全を確認しております。保護者の皆様の御理解と御協力の下、安全な登下校の実現に向けて努力して参ります。

生徒の卒業後の進路選択に関する学習は教員においても大切な指導内容です。生徒の実態や本人・保護者様の希望を考慮して進めていくものですが、流動的な進路先の状況もあり、御希望に添えないこともあります。今回の貴重な御意見を今後の進路指導に活かしていくと共に、本人や保護者様のニーズをよりの確に把握し、進路情報をお伝えしながら話し合いの時間を十分にとって対応していきたいと思っております。また、進路実現には御家庭の御協力や進路先となる事業所、福祉行政に対する御理解も不可欠です。保護者の皆様には早い段階から進路や福祉についての情報に感心をもっていただけるよう努めて参ります。

その他にも、学校に対する感謝のお気持ちも寄せていただき励みになりました。教職員一同、今後とも誠心誠意取り組んでいく所存ですので、御協力、御理解の程、よろしく願いいたします。